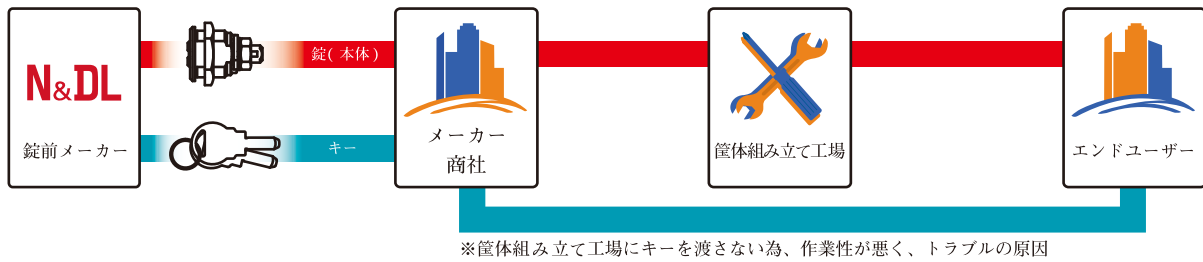


セキュリティ度の高い筐体で多々見られる例

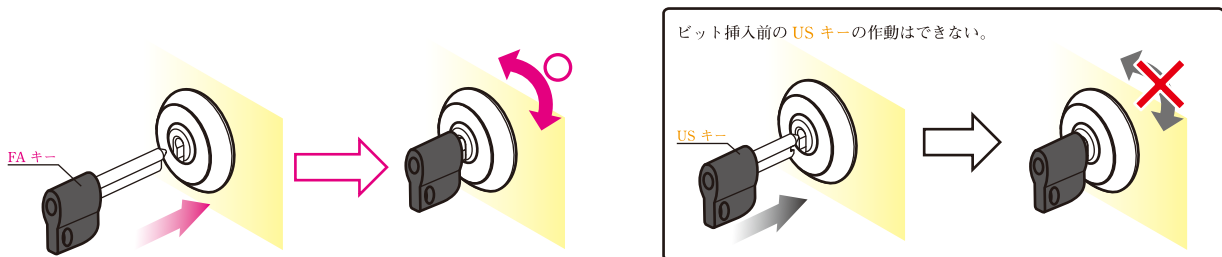


FAUSシステム (当社オリジナルシステム) を使った例



1) FA キー (工場) の運用

まず FA キーで同番として運用します。ビット挿入前は US キーでの運用は出来ません。



2) US キー (エンドユーザー) の運用

ビット 1 個を US キーを使って錠(本体) の奥まで挿しこみます。(※ビットを 2 個以上挿入しないでください。)

すると、ビットは錠(本体) 奥で固定され、US キーでの鍵違いまたはマスターシステムとして運用できるようになります。

ビット挿入後は FA キーでの運用ができなくなります。

